

キッズ

アート

KIDS ART FES

君もアーティストになろう！
子どもたちのアート体験！

3組のアーティストと一緒に、
ワークショップを通してつくった作品を
札幌市民交流プラザに展示します。
みなさんの参加をお待ちしております！

参加者大募集

展示期間

2026年
11月7日(土)
~23日(月・祝)

10:00~19:00(最終日17:00まで)

ワークショップ開催および展示会場／札幌市民交流プラザ 1F・2F SCARTSモールA,B,C

アートの入口



さっぽろアートステージ 2026

<http://www.s-artstage.com/>

Sapporo Art Stage

完成作品は札幌市民交流プラザSCARTSモールA、Cに展示します!

ワークショップ参加者募集!!

写真の原点、青写真で記憶のかたちをつかまよう!

青写真とは1840年代の古い写技法でカメラを使わない写真です。昭和の時代までは「図面の複製」として主に建築現場や工場で長年重宝されていました。カメラを使わずに、物を直接、感光紙に置き、一定の太陽光(紫外線)を当てることで写真を制作します。写真の原点とも言える技法で青と白のグラデーションによる美しい画像が完成します。今回のアートステージでは、青写真で現代アートを制作し国内外で活躍する浅見俊哉さんを講師に迎え、子どもたちと古典的な写真技法を用い記憶と時間をテーマに創造豊かな作品制作を行います!

日程 11月7日(土)・8日(日) 各日13:00-14:30

会場 札幌市民交流プラザ 1F SCARTSモールA

定員 各日20名 **対象** 4歳～小学生まで(保護者同伴)

用意 あなたの記憶の品、たいせつなものを数点。
(A3サイズ(297mm×420mm)に収まる大きさで素材にしてみたいと子どもが思ったもの)

開催時間とお申込



※先着順受付



講師

浅見俊哉(美術家)

1982年東京都葛飾区生まれ。2006年文教大学教育学部美術専修卒業。青写真研究所主宰。2004年頃から、「時間」と「記憶」をテーマにものを直接感光紙に置き太陽光で撮る写真(フォトグラム)を制作。代表作にヒロシマの被爆樹木を2012年より毎年撮り続ける「呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム」がある。「つくること」「つたえること」の両輪を持って活動する事が自身の芸術活動であると考え、全国各地でワークショップやアートプロジェクトを実施し、制作を「終わる」が双方向的に創造力を生み出せる「場」をつくらせている。近年では「さいたま国際芸術祭2020・2023」で市民プロジェクトを担当した。主な展覧会に、2019年・2017年「中之条ビエンナーレ」(群馬県)、2016年「かがわ・なみ芸術祭」(香川県)、2015年「呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム」@Gallery G(広島県)、「MADE in GIAPPONE」@GALLERIA San FRANCESCO他(REGGIO EMILIA・イタリア)、2014年「呼吸する影-Shadow of Bombed Trees」@新宿ニコソロン(東京都)、大阪ニコソロン(大阪府)、2007年「Eternal Echo」@A Forest Gallery(NY・アメリカ)、2006年「Mite!おかやま」岡山県立美術館(岡山県)など。

手作りの大きなポスターを作ってみよう!

プロのグラフィックデザイナー工藤地央さん指導のもとエコロジーをテーマに子どもたちの自由な発想を大型ポスターにするワークショップです。学校でもグラフィックデザインの勉強としてポスターを描くことはありますが画用紙やノートなど、その大きさは限られています。今回のアートステージでは会場となるスカーツに子どもたちの等身大となる大きなパネルを設置し、予め講師の工藤地央さんがエコロジーをテーマとする文字、樹々、草花、小動物、昆虫などをデフォルメしたテンプレート(型紙)を用意します。そこに子どもたちが自由な発想で色や線などを描きパネルにコラージュすることによって大型のポスターを制作します。4日間に渡り延べ60名が参加する大きなポスターから、どんなユニークなメッセージが飛び出すのか楽しみです!

日程 11月7日(土)・8日(日) 各日10:30-12:00
11月14日(土)・15日(日) 各日13:30-15:00

会場 札幌市民交流プラザ 2F SCARTSモールC

定員 各日15名 **対象** 4歳～小学生まで(保護者同伴)

用意 汚れてもいい服装。画材用具は会場側で用意しています。

開催時間とお申込



※先着順受付



講師

工藤地央(グラフィックデザイナー)

北海道旭川市出身。幼少期からのものづくりが得意でデザイナーを志し、札幌市立大学に入学し建築を学ぶ。設計のほか、インスタレーションで自身のアートワークを制作。現在はデザイン事務所「Shiori Graphic」でグラフィックデザイナーとして勤務。主な発表として、2024年 六本木デザインズフラッグ・コンテスト2024入選。個展「いのちのちてん」(トラムニストギャラリー)。ペルーデザインビエンナーレ2024 ポスター入選。2025年 個展「あしたのき」(CAI03)。2026年 個展「ふろしきランデヴー」(グランビスタギャラリー)。JAGDA正会員。札幌ADC会員。

山の精、オバケや妖怪、鳥やけものお面を作ろう!

お面、マスクは古くから日本や海外でも伝統的な文化として今も継承されています。日本では秋田県のナマハゲ(鬼のお面)が有名ですが、各地で行われるお祭りの縁日でもお面露店商は現在も人気の名物です。今回のアートステージでは現代美術家の八子直子さんを講師に迎え、子どもたちにお面を制作してもらうワークショップを行います。八子直子さんが行うワークショップのテーマ、ストーリーは「さあ、山の森の中で年に一度のお祭りが始まるよ。山の精、オバケや妖怪、鳥やけもの達が勢ぞろい。私たちが妖精オバケのお面マスクをかぶって仲間になって森のお祭りに出かけよう!」というもので、子どもたちの突拍子もない発想から、どんなお面マスクが登場するかが楽しみなワークショップです。

日程 11月7日(土)・8日(日) 各日13:30-15:00
11月14日(土)・15日(日) 各日10:30-12:00

会場 札幌市民交流プラザ 2F SCARTSモールC

定員 各日15名 **対象** 4歳～小学生まで(保護者同伴)

用意 汚れてもいい服装。画材用具は会場側で用意しています。

開催時間とお申込



※先着順受付



講師

八子直子(美術家)

半立体造形。近年はインスタレーションをも手がける美術家。近年は自身のルーツである曾祖父の北海道開墾の記憶を辿り作品を制作しており、個人的ルーツを巡ることで逆にグローバルな人類の新たな生き方を示唆している。主な展覧会に2025年「修繕/LAGA/MEND」(Uppsala Ubbo/Sweden)「水の流れ」八子直子 井越有紀(ギャラリー門馬/札幌)「積層状」加藤祐子 八子直子(vitokurasu/大阪)。2024年 八子直子展「雲のなりかた」(茶廊法島/札幌)「森を綴ぐ/燐光を紡ぐ」(市立大真駒内キャンパス/札幌)。2023年 八子直子展「昔の声」(ギャラリー門馬/札幌)、Hokkaido-Swedish Art 23「北翔大円山キャンパス/札幌」、北のfoundation(500メートル美術館/札幌)。2022年 Flying Seeds(Botanical Garden of Uppsala/Sweden)、八子直子展「雲のフリル」(galleryレトラ/札幌)。2021年 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展(道立近代美術館/札幌)、札幌ミュージアム・アート・フェア(札幌彫刻美術館/札幌)など。受賞歴に2022年 令和4年度 北海道文化奨励賞、2019年 第29回道銀芸術文化奨励賞。

各ワークショップの二次元コードからお申込みください。

各ワークショップの申込方法 応募:先着順受付 受付開始:2026年10月7日(水) 12時(正午)～

※定員を超えていてもフォームに入力は可能ですので、参加の可否については事務局からのメールでご確認ください。定員を超えてのお申込みはキャンセル待ち扱いとさせていただきます。
お問い合わせ:さっぽろアートステージ実行委員会事務局 TEL.011-281-7117(平日10:00～17:00)

関連イベント キッズアートフェス
in 無印良品 札幌パルコ

キッズアートフェス「山の精、オバケや妖怪、鳥やけものお面を作ろう!」を無印良品 札幌パルコで行います。

日程:11月21日(土) 13:00～14:30、15:00～16:30 座数:8席

会場:無印良品 札幌パルコ(札幌市中央区南1条西3丁目 札幌PARCO 5F)

受付:当日随時受付 ※混んでいる場合はお待ちいただく場合がございます。※画材が無くなり次第、終了となります。

※13:00～、15:00～ 各回最初の8名については二次元コードから事前受付となります。詳細は右記の二次元コードからご確認ください。

